



音楽的道化師・ましゅ&Keiが
物とたわむれ物と演じる、
セリフのないお芝居です。

跳んだり
はねたり
踊ったり
!

ましゅ & Kei

Buddy!

—あ・い・ぽ・う—

2018年11月29日(木) 19時00分開演
(開場は開演の30分前)

会場 / 三股町立文化会館 〒889-1901 宮崎県北諸県郡三股町大字榊山3404-2

出演 / 音楽的道化師・ましゅ&Kei

構成・演出 / くすのき 燕 (人形芝居 燕屋)

料金 / 一般…… 1,500円(当日1,800円)

大学生以下…… 1,000円(当日1,200円)

ベア…… 2,500円(前売りのみ)

未就学児入場不可…無料託児あり(要予約)

※全席自由 ※電話予約可 ※WEB予約可(三股町立文化会館WEBサイト)

※前売にて完売の場合「当日券」は販売しないことがあります

※大学生以下は、入場の際「学生証」の提示をお願いすることがあります

チケット発売開始 / 10月5日(金)午前9時30分

主催 / 三股町、三股町教育委員会 共催 / みやこのじょう子ども劇場

お問い合わせ・チケット取扱 /

三股町立文化会館 TEL0986-51-3462 <https://bunka.town.mimata.lg.jp>

Story - 自転車とリヤカーに乗った“ましゅ”と“Kei”。ふたりはいつも一緒、楽しい旅の途中。「今日のねぐらはここに決定!さあ、掃除して、洗濯して、食事にしよう!」ところが、ふたりの行動はなんだかチグハグ。それもそのはず、ぎちょうめんな“ましゅ”に、おおざっぱな“Kei”。ふたりの“違い”が、様々なバブニングを引き起こして…ケンカしたり、仲直りしたり。たくさん笑って、ちょっぴりほろり。でも、なんだか元気が出てくる…。そんな物語を「MUSIC CLOWN~音楽的道化師~ましゅ&Kei」がお届けします。



mashu-and-kei.com

【登場する物たち】バケツ、ナイフ&フォーク、ハンガー、自転車、ほうき、リアカー、洗濯板、たらい、ラバーカップ、洗濯物、そのほかいろいろ…。ふたりの手にかかれば、日常の物も、あっという間に、楽器や、遊び道具に早変わり。





★ 出演：音楽的道化師・ましゅ&Kei

ましゅは音楽、Keiは演劇活動を経て、RINGLING BROS. AND BARNUM & BAILEY CLOWN COLLEGE JAPANにてアメリカのサーカスクラウン芸を学ぶ。卒業後、93年に「ましゅ&Kei」を結成。95年よりMUSIC CLOWN～音楽的道化師～として、全国各地の劇場、学校、イベント等で公演を行う。音楽とクラウン芸を融合させた、日本では珍しい「ミュージッククラウン」としての活動を展開。国内はもちろん、海外での公演やフェスティバルにも多数出演。06年、長年の東京生活から一転、長野県飯田市にターン、信州に拠点を移す。「心に“赤い鼻とクラウンフェイス”」を合言葉に、素顔のミュージッククラウン、そしてシアタークラウンとして、「元気と笑顔」を届ける為、今日も世界中を飛び回る。

※クラウン(CLOWN)…おどけ者、お調子者、道化師

▶ 構成・演出：

くすのき 燕 (人形芝居 燕屋)

大学在学中に人形劇を始め、ブーク人形劇アカデミーで本格的に人形劇を学ぶ。日本ウニマ【国際人形劇連盟】勤務後、人形劇を学ぶために4ヶ月間、渡欧。帰国後、エツコ・ワールド創設に関わり、ひとり人形劇での全国巡演、人形劇の作・演出・ワークショップの他、海外劇団の招聘公演などのプロデュースも行う。05年エツコ・ワールドから独立、『人形芝居 燕屋』を立ち上げる。現在、全国で人形劇の上演は勿論、演出・ワークショップなど多面的な活動を展開。

↑ STAFF

テーマ音楽／ふわり(タテタカコ、桑原利彦)
 写 真／唐木孝治
 美術製作／C.A、水上 隆、木下 拓、松崎 行代
 大道具制作／ムラマツ車両
 笛 指 導／笛師九兵衛

演出より

『スケアクロウ』という映画が好きです。ジーン・ハックマンとアル・パチーノ主演のおかしくて哀しい映画です。しょぼくれ男二人が、旅を続けるうちにお互いを理解する。言ってしまうと、それだけの映画です。旅を舞台にした映画＝「ロード・ムービー」のうちでも、とりわけ二人組の場合は、「パティ・ムービー」というやつです。「相棒もの」とでも訳すのでしょうか。男と男が殴り合ったり、女同士が罵り合ったり、男と女が恋に落ちたり、動物との二人旅なんてケースもありました。

『あいぼうー人生の、仕事の』

自転車とリアカーに乗った二人組。

今日のねぐらを決めて、そこで掃除、洗濯。keiのちょっとしたおふざけが、気に入らないましゅ。ましゅの細やかなが、気に入らないkei…。

楽しいこともある。心強い事も多い。しかし、わずらわしいこともある。

いや、むしろ、その方が多し。でも、なんとかやがっていけるんじゃないか？

—そんな風景を描きたいと思っています。

今回の僕の相棒は、音楽的道化師「ましゅ&Kei」。

彼らの道化の芸と人形劇をフィールドとする僕の「物」へのこだわり。結構、いい相棒になれたんじゃないかと感じています。

構成・演出：くすのき 燕

アンケートより

- ♪せんたくのところがおもしろかった。(6歳女子)
- ♪表情だけで言いたいことを伝えられるなんてすごい!(12歳男子)
- ♪セリフがなくても全然OK。お二人の息もピッタリ。とっても感動しました。(28歳男性)
- ♪色んな物で音が出せるっていう所が良かった。家中のなべやフライパンで子ども達が演奏するのが目にうかびます。(32歳女性)
- ♪10代以下はやりとりのおもしろさ、10~20代は冒険・友情、30代は生きる力、40代以降はノスタルジー。全世代型・全世界型の作品ですね。(40代男性)
- ♪ちょっと感心したりしながら観ていって、最後にちょっとほろりとしたのは、なぜなんだろう…。(42歳女性)



Mimata 三股町立文化会館

◆会場／三股町立文化会館
 〒889-1901 宮崎県北諸県郡三股町大字榊山3404-2

◆主催／三股町・三股町教育委員会

◆お問い合わせ・チケット取扱／三股町立文化会館

☎0986-51-3462

※電話予約可 休館日(月曜日)を除く午前9時~午後5時

※WEB予約可 <https://bunka.town.mimata.lg.jp>

